

株式会社ファミリーマート

ありがとうの✿
手紙コンテスト2009
✿最優秀賞受賞作品集
こどもたちの未来のために…



R100

古紙配合率100%の再生紙を使用しています。



ご報告にあたって

私たちファミリーマートは、ホスピタリティあふれる行動を通じて、お客さまに「気軽にこころの豊かさ」を提案し、快適で楽しさあふれる生活に貢献することをめざしています。ファミリーマートは国際社会、地域社会との調和を図り、心豊かなより良い社会の実現をめざして社会貢献活動に取り組みます。中でも地域社会の要請と信頼に応え、積極的な関係の構築を心掛け、地域社会との共生を図ることは、加盟店ストアスタッフに至るまで、日々心がけています。その中で、「ファミリーマートらしさ」をさらに推進していくために、2009年度の社会貢献テーマを「こども支援」と定め、こどもを応援するさまざまな活動を通して、家族を、地域社会を、未来の社会を応援して参りました。2009年度に初めて取り組み、2,228通という多くのご応募をいただいた『ありがとうの手紙コンテスト2009』をはじめ、取り組んできた具体的な活動内容をここにご報告いたします。これらの活動をさらに深め、次なる新しい活動を広げ、地域社会の一員として、より良い社会づくりに貢献することをめざしていきたいと考えています。

平成22年1月吉日

株式会社 ファミリーマート
代表取締役社長 上田 準二

報告 1

ありがとうの手紙コンテスト2009

本年度初の試みとして実施しました本コンテストは、夏休みの前に全国22,000校・700万児童に向けてご案内し、結果、7月18日から、9月30日の約1ヵ月半の間で、応募総数2,228通にも上る数多くの応募をいただきました。甲乙付け難い力作の中から選ばれた、全国7つのエリアを代表する14の最優秀賞受賞作品をご紹介します。

報告 2

こども支援活動

2009年度の社会貢献テーマである「こども支援」の具体的な活動の代表的なものをご紹介します。これらのこどもを応援するさまざまな活動を通して、家族を、地域社会を、未来の社会を応援していきます。

ありがとうの手紙^{てがみ}コンテスト2009 コンテスト実施概要

- 主催** 株式会社ファミリーマート
- 後援** 全国連合小学校長会／株式会社教育新聞社
- 応募期間** 平成21年7月18日(土)～9月30日(水)
- 応募資格** 小学校1年生～6年生
- 審査** 一次、二次、最終審査会と3回の審査を経て決定
- 最優秀賞** 低学年部門(1～3年生) 各ブロック1名 合計7名
高学年部門(4～6年生) 各ブロック1名 合計7名
※全国を7ブロックに分割し、審査を実施
- 応募総数** 2,228通 **最終審査会** 平成21年11月27日(金)

審査員講評



池上 彰 フリージャーナリスト

どの作品が選ばれてもいい、落としたい作品ばかりだと思う、ある意味とてもつらい審査でした。家族の絆が薄れているといわれることが多い昨今ですが、その感を払拭してくれるような数多くの作品に、本当に感銘を受けました。日本はまだ大丈夫だと思わせてくれる大きな意義のあるコンテストだと思います。ともするとメールだけのやりとりで済ませてしまうことが多い風潮の中で「手書きの手紙」にこそ、人と人のつながりを生みはぐくむ力があるということを改めて申し上げたいと思います。

審査委員長



こやま 峰子 児童文学作家

選ばれなかった作品がよくなかったということではありません。選考する私たちを感動させてくれる作品ばかりでした。「ありがとう」と思ったことを手紙に書く、ということが共感と呼び、また、家族、友だち、おじいちゃん、おばあちゃん……あらゆる人と人との絆が感じられることが感動につながりました。こんな素晴らしい作品を作った子どもたちが、未来を担うことを考えるととても明るい気持ちになります。小学校の先生が「ありがとう」という言葉の本当の意味を教える指導にも使っただけなのではと感じました。

審査員



小峰 紀雄 株式会社 小峰書店 代表取締役社長

子どもたちからたくさんのお手紙を教えてもらったコンテストでした。普段の生活の中でこんなに深く感じて、深く考えているんだ、ということに大変感動し、逆に勇気付けられる思いで読ませていただきました。審査員として、そんな作品の中から選ぶということがおこがましいくらいに思える作品ばかりです。改めて思うのが、自分の気持ちを言葉にする、手書きの文字で表現する、ということの大切さです。それがより深く感じ、考えることにつながるのではないのでしょうか。これからも続けていただきたいコンテストです。

審査員



野上 暁 白百合女子大学、東京成徳大学 非常勤講師

飽きっぽいといわれている現代っ子たちが、こんなにたくさん書いてくれたことがとてもうれしく、全員をほめたい気持ちです。学校の勉強や授業の一環でないコンテストに、これだけたくさんのお手紙が応募したことに感動しています。「ありがとう」という言葉の意味は、書いてみて初めてわかることだと思います。また最近、子どもたちの創作物がパターン化していることを感じていたのですが、スタイルにこだわりがなく、自由に思うままに書いていたこと。さらに手書きということが、多彩な作品につながったことにも大きな意義を感じました。

審査員



加藤 利夫 株式会社ファミリーマート 取締役 常務執行役員

家族と過ごす日々の思い出を少しずつ積み重ねることで、家庭ができてきているのだと改めて感じ、家庭を持つ人間として、父として大きな勉強をさせていただくことができたコンテストでした。核家族化が進み、家族の絆が問われる中で、普段思っている感謝の気持ちを家族の人にはもちろん、伝えたいと思っているいろいろな方に、子どもの目線で書いていくことのできる機会を増やしていくこと、それがファミリーマートのできる応援のかたちだと考えています。ご応募いただいた皆さま、審査員の先生方、本当にありがとうございました。

審査員

最優秀賞

ふくはら そうた
福原 聡太さん (3年)
青森県弘前市立 福村小学校

おばあさんランドセル買ってくれてありがとう
いっしょに学校まで歩いてくれてありがとう
マラソンのおうえんに来てくれてありがとう
かゆくておむれないうち、おどしてきてくれてありがとう
べん強もこつぼうも 教えてくれてありがとう
あそびに行くというもおやつをくれてありがとう
ぼくのここと思っ、てくれてありがとう
がんになった時
ぼくのせいなの
と云ってたり
ちがってよ
と云ってくれた
ぼくのこころを配して病気がなくなった
こまのなるなと思っていたんだ
元気になっ、てくれてありがとう
これからも元気でいてください
ぼくは目のくん練をうつけます
より道する脳を自分でなやめます
なりたいしごとをやるようにがんばります
まっ、てください お元気で
福原 聡太



最優秀賞

ほりぐち なぎ
堀口 凧さん (4年)
山形県庄内町立 余目第三小学校

お母さん、毎日おいしいごはんありがとう。
お母さんは、お母さんとお父さんだから、おこる
ところ、お母さんか、大好きです。
みんな私の家族でありがとう。

家族のみんなにありがとう

私の妹、ひいちゃん。
私にくっついてばかりいて、いやだなあ...
って思う時もあるけど、ここにこわらっている顔
かわいくて好きだよ。
いつもわらっていてくれてありがとう。

私の弟、あお君。
ひいちゃんにいじわるばかりして、なか
せてる。でも本当は、やさしんだよね。
あお君には言わないけど、
あお君、いろいろありがとう。

★ 最優秀賞 ★

あいだ かずき
相田 和輝さん(2年)
 東京都新宿区立 落合第六小学校



ありがとうおとうさん
 二年 あい田 かずき
 いろいろしゃげんで おしごとを
 元気がすか。たまにしか会えな
 んがおしごとをしてくれるお
 り、ぼくがほしがったローラ
 す。なまびにつれて行ってく
 す。ごやく目をしていること
 ありがとう。
 でもお兄ちゃんときんかき
 が間に入ることも。と大い
 なるからだまで見えてほし
 ぼくは、おとうさんみたいに
 なるようにとうきょうでが
 広しまからかえって来た時、
 ありがとう。

★ 最優秀賞 ★

かとう じゅね
加藤 樹音さん(5年)
 東京都町田市立 本町田東小学校

いくちゃんへ
 こんにちは、いくちゃん。
 いくちゃんに、たくさんのあ
 たくさんの笑顔をもらたよ。
 今度は私がいくちゃんにあ
 いくちゃん、私を可愛いが
 訪ねてくれてありがとう。
 入院中、会いに行かなくて
 ありがとう。も言えずごめん
 夜、一番星を見つめながら、
 行ってしまた、いくちゃんを
 天国は楽しいかな。
 いくちゃん、笑顔をもう度
 手を撃ぎたいよ。
 夢の中で会えた時、車に
 そうな顔をしていたね。
 7カ7カの雲の上で、太陽の
 いくちゃん、今まで本当に
 これからも天国で見守って

樹音

最優秀賞

よしもと さおり
吉本 早織 さん (1年)
埼玉県さいたま市立 春野小学校

母への感謝

いつも、いつも言いたい言葉がある。伝えたい言葉がある。それは、「ありがとう、お母さん」。

お母さん、私を産んだ時、どんな気持ちだった？私は、どんな顔で、どんな泣き声で産まれてきたの？きつと、う水しい気持ちで、感謝の気持ちでい、ばいごす。

かぜをひいた時は、いつもそばにいてくれたよ。水まくらをかきかえたり、心配そうのご飯の用意が、せんたく、あたりまえのことだけど、本当にありがとう。

でも、つかれた時は、私にもたよってね。妹と一緒に、お母さんを助けるよ。

今まで、言えなかつたことをこの手紙で伝えます。

「ありがとう、お母さん」。

ありがとうございます。

よしもと さおり

おかあさんへ。

おはんをつくってくれてありがとう、わたしかわるいことをしたとき、ほんとだめっていつてくれてありがとう。

わたしがいちりんしゃをのれるようになったとき、いっばいほめてくれてありがとう。

わたしのたんじょうびのときにつくりケーキをつくってくれてありがとう。

わたしがべんきょうをするとかんばれ、てばけましてくれてありがとう。

わたしがねつをだしたときかんがえてくれてありがとう。

いっばい、いっばいありがとう。

こんどは、おかあさんにありがとう、てたくさんいわれるようになりたいな。

ありがとう、ていわれるところがあかるくなるよ。うれしくなるよ。

最優秀賞

おおぬま ありさ
大沼 有沙 さん (5年)
茨城県常陸太田市立 佐都小学校

母への感謝

いつも、いつも言いたい言葉がある。伝えたい言葉がある。それは、「ありがとう、お母さん」。

お母さん、私を産んだ時、どんな気持ちだった？私は、どんな顔で、どんな泣き声で産まれてきたの？きつと、う水しい気持ちで、感謝の気持ちでい、ばいごす。

かぜをひいた時は、いつもそばにいてくれたよ。水まくらをかきかえたり、心配そうのご飯の用意が、せんたく、あたりまえのことだけど、本当にありがとう。

でも、つかれた時は、私にもたよってね。妹と一緒に、お母さんを助けるよ。

今まで、言えなかつたことをこの手紙で伝えます。

「ありがとう、お母さん」。

ありがとうございます。

よしもと さおり

おかあさんへ。

おはんをつくってくれてありがとう、わたしかわるいことをしたとき、ほんとだめっていつてくれてありがとう。

わたしがいちりんしゃをのれるようになったとき、いっばいほめてくれてありがとう。

わたしのたんじょうびのときにつくりケーキをつくってくれてありがとう。

わたしがべんきょうをするとかんばれ、てばけましてくれてありがとう。

わたしがねつをだしたときかんがえてくれてありがとう。

いっばい、いっばいありがとう。

こんどは、おかあさんにありがとう、てたくさんいわれるようになりたいな。

ありがとう、ていわれるところがあかるくなるよ。うれしくなるよ。

★ 最優秀賞 ★

なかの みお
中野 美音さん(1年)
 長野県松川村立 松川小学校

おかあさんへ
 まいにち、みおのはをたいせ
 つにして、くれて、ありがとうね。
 大きくくちをあげないといけ
 ないのにね。ちやっ、ごめんね。
 はくんも、きもちいいって、い
 ってるから、みおもねむくな
 ちやうんだあ。
 みおもひとりでするようになるよ
 れんしやうするから、しあげを
 おねがいね。

おやすみなさい



みおより

★ 最優秀賞 ★

なかいえ ゆうと
中家 佑斗さん(6年)
 石川県志賀町立 加茂小学校

おじいちゃんへ

6年最後のすもう大会

いよいよすもう大会に向けて練習が始ま
 った。体の小さいぼくはなかなか勝てず「いや
 だなあ」と思いながら練習をする日々が続い
 った。
 そんなぼくを応援してくれたのがおじいちゃんだ。毎日学校まで送ってくれたり、「おきしめて、まわしつかむげんぞ。」などとアドバイスをくれたり、時には、すもうの練習も見してくれた。
 大会当日、ぼくは六年生の一番目。結果は残念ながら負けてしまった。「もっとがんばればよかった」と思った。
 その夜おじいちゃんに、「負けてしまったわ」と言うと、「ま、そんな時もあるわい。ハハハ」と、明るく笑ってくれた。ぼくをはげますために元気よく話しかけるおじいちゃんを見ると心で自然に「ありがとう」と言っていた。

中家 佑斗

最優秀賞

はやし けんたろう
林 憲太郎さん(1年)
兵庫県神戸市立 井吹西小学校

No. _____

ありがとうございますおてがみこんですと、

てんごくのとみこはあはへ
ぼくね、やさしくしてくれたいよ。もうねんせ
いたよ。きらいや。たうめぼしがたべれるよ
うになつたよ。こないたね、ばあばがつく
てくれたうめぼしをたべたよ。すぐおいし
か、たよ。たべながら、ばあばのことをおも
いでしたよ。

いっしょにお風呂にはいったり、でんしゃ
にのせてもらったり、じゃんけんしてあそん
でくれてありがとう。ひょうきでしんごいの
にやさしくしてくれたいよ。あは、おこるとちよ
っとわかつたばあば、ぼくは、ばあばのこ
とがだいすきだよ。

ばあば、てんごくはどんなところですか。
うめぼしをつくっていますか。ばあばのうめ
ぼしは、せんふたべたから、もし、てんごく
でうめぼしをつくらたら、こいべにおく
てね。みんなまってるよ。

一ねん はやしけんたろうより。

最優秀賞

まえだ ななみ
前田 菜々美さん(4年)
奈良県桜井市立 大福小学校

秋のお母さん
奈良県桜井市立大福小学校
4年 前田 菜々美

秋のお母さんは、体が不自由です。今まで
色々な病気で手術をして来ましたが、ひどい
背中、腫瘍手術をする事が出来ません。昨年
10月からは、だんだん悪くなってしまい、そ
れからは、車いすの生活になりました。少し
なら歩く事が出来るので、家の中では、つえ
を使ひ、カベを持ちながら、家族のために、
そうじや食事や洗たくなど頑張っていてくれ
ています。それなのに秋は何回も、どうして
そんな体なのと、お母さんをせめた事があり
ました。その時のお母さんは、とても悲しそ
うな顔をしてごめんねと言います。そんな顔を
見た時に、どうしてそんな事を言ってしまった
のかと反省して泣きました。それは、家族そ
うで遠くに遊びに行く事が出来なくなつたし
親戚の方に来てもらえなくなり、はらが正

たり悲しくなつたからです。あとになって
考えてみると、一番つらくて悲しい気持ちで
いるのは、お母さんだと気づきました。お母
さんの体が冷える事はありません。そして今の
小学生の私に出来るのは、少しでもお母さん
のお身体を暖めてあげてあげます。でも、大き
なつた私には、視力の悪いお母さんの目の化
わりをし、お母さんの手と足と足となり頑張
つて支えて行つてあげたいと思つています。
もし、同じ親を持つた、お友達がいれば、
さつと私の気持ちを分かってくれませんか。信
じています。はながしくて口に出せない言葉を
今、言いたいです。家族のために、一生けん
めい頑張つてくれていてる私のお母さん本音に
ありがとう。そしてお仕事を頑張つてくれて
いるお父さん、いつもありがとう。いつまで
も成長してほしいです。心からありがとう

最優秀賞

おおたい
太田井 まりな さん (2年)
岡山県倉敷市立 中洲小学校

長原 みき 先生へ

長原先生、いつもベンキョウや体いくをおしえてくれてありがとうございます。先生のじゅぎょうはとて楽しいです。大きなこえてわかりやすく教えてください。水日曜日(水曜日)にそうじがないときにはとときどき本をよんでくれるのがとてもうれしいです。その本の中の人やどうぶつになりきってこえをかえてよんでくれます。クラスのみんなとわたしは大きなこえて大わらいます。ろうかをはしたりつくえの上をせいとんしてないと先生はおこります。でも、それはわたしたちにできるようになってもらいたいからだと思います。長原先生はいつもにこにこわらって元気です。朝、わたしがわたし元気がでないときも先生のにこにこえかおを見ると、元気がわいてきます。わたしは、そんな長原先生が大すきです。わたしも先生にまけないえかおでがんばります。



長原先生
ありがとう!!
太田井まりなより

最優秀賞

ひらはら そうま
平原 颯真 さん (4年)
広島県呉市立 天応小学校

おばあちゃんとおじいちゃんへ
おばあちゃんとおじいちゃんは、すごくやさしくておもしろいです。
ぼくは、おばあちゃんとおじいちゃんの家に行くのが楽しみです。
ぼくは、おばあちゃんとおじいちゃんにごはんをいっしょに食べることも楽しみます。
そして、弟が行くとおじいちゃんが近所(近所)たり、けんかするので弟が行く時はいつもよりすごくおもしろかったです。
おじいちゃんは動物の世話を毎日一日もかかさずしてすごいなと思います。
おじいちゃんは、本当にやさしい人だと思います。
おばあちゃんは、いろいろ手伝ってあげると「助かった」と言ってくれるのでうれしいです。
そしていつもやさしくしてくれていつもぼくの味方(味方)でいてくれてありがとう。
ぼくは、おばあちゃんとおじいちゃんが大好きです。
これからもずっとずっと長生(長生)して下さい。
これからもぼくと仲よし(仲よし)でいて下さい。



おじいちゃん
おばあちゃん
平原颯真より

* 最優秀賞 *

にしかわ まこと
西川 真琴さん (3年)
熊本県山鹿市立 山鹿小学校

大すきな おじいちゃんへ 

おじいちゃん、毎日いろんな事をがんばってくれて、ありがとう。お母さんは今、運転をあまりしないし、おばあちゃんも車の運転が得意じゃないので、どこかへ行く時はいつもおじいちゃんがきついで運転しなければなりません。家のおにわのかみ理や野菜作りや犬のラブの世話もほとんどおじいちゃんがやってくれて、本当にありがとう。このごろずっとおばあちゃんのさつしんけいつうの足がいたくてきついで、さい近 おじいちゃんはおばあちゃんにりょう理を習ったりもしているよね。おばあちゃんがお仕事のピアルソンの時にかんたんなりょう理を作ってくれて、本当にありがとう。おじいちゃんが作ってくれたカレーライス、とてもおいしかったよ。おばあちゃんもとても助かると思うよ。昼間がんばったおじいちゃん、そんな事をしている、夜はわたしといっしょによくあそんでくれるので、わたしはおじいちゃんが「大すきだし、えらいなあ」と思っています。お母さんがびょう気なので、学校のいさようさんかんにもおじいちゃんが来てくれて、PTAのほうし作ぎょうにも全部おじいちゃんが行ってくれてるよね。おじいちゃんはおわたしのお父さんがわりなので、これからいろいろな事をしてもらわなければ「ならない」と思います。とても大へんな事だと思いますが、どうかよろしくおねがいします。おじいちゃん、本当にありがとう!!

まことより 

* 最優秀賞 *

しのざき れい
篠崎 玲衣さん (5年)
沖縄県那覇市立 前島小学校

 恵子ちゃんへ 

♡心からありがとう♡

お元気ですか？ 私はとても元気です。
お母さんから「恵子ちゃんが乳がんになった」と聞いたとき私はどんな病気なのかよくわかりませんでした。治りょうの様子を聞いていたお母さんは泣いていました。そして私も、こうがんさいのえいきょうで、恵子ちゃんのかみの毛が全部ぬけてしまった姿を見てショックを受けました。でも、恵子ちゃんは、いつも明るく元気そうにしていたよね。私は「恵子ちゃんががんばれ！早く治れ〜!!」とずっと祈っていました。

恵子ちゃんから、無事手術が終わった、という連絡が来たときは、お母さんも私もホッとしました。8月の検診で何も問題がなかったから、納得通り10月に沖縄に来れることになって本当にうれしい!!

病気を治してくれてありがとう!!

私はこの出来事から、あきらめない気持ちと、命の大切さ、友達を大事に思う気持ちを学びました。恵子ちゃん、本当にありがとう。

玲衣より

 すっくと元気でいてね!!
ありがとう!!

子どもを応援するファミリーマートは こんな活動をしています

ファミリーマート 夢の掛け橋募金

2006年4月にファミリーマート創立25周年を記念して、環境・社会貢献活動を行なう多くの団体を幅広く支援するために、『ファミリーマート夢の掛け橋募金』を立ち上げました。この募金活動は、募金していただいた皆さまと社会的な活動を行うNPO/NGOとの掛け橋としての役割を担います。皆さまから寄せられた募金を、「世界の子どもたちと地球の未来のために」、夢を持って国内外で環境・社会貢献活動を続ける団体へ寄付することにより、その活動を支援します。



寄付先
特定非営利活動法人 国連WFP協会
社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
社団法人 国土緑化推進機構「緑の募金」
独立行政法人 環境再生保全機構「地球環境基金」
※団体への寄付もさせていただきます。

セーブ・ザ・チルドレン支援活動

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン(SCJ)への支援は、ファミリーマートがタイに進出した1992年のタイミングに合わせて始まりました。SCJのアジアの子どもたちへの支援に賛同し、翌年7月より募金箱を全店舗に設置。当時約2,800店のファミリーマートで人気デュオ CHAGE and ASKAさんと「ファミリーマートサマーキャンペーン」を展開し、SCJの活動を強力にバックアップしました。



ベルマーク運動への参加

「すべての子どもに等しく、豊かな環境のなかで教育を受けさせたい。」というベルマーク活動の願いに賛同し、2008年4月1日より、全国で発売しているおむすび全品にベルマークを付けました。従来にない規模でのベルマーク運動の商品販売拠点となります。お客さまが日常よく購入される、人気のオリジナル商品「おむすび」(常時およそ20~25アイテム)のパッケージに「ベルマーク」を付けることで、お客さまが手軽にベルマーク運動に参加することができます。



セーフティステーション

コンビニエンスストアがお客さまに良質な商品・サービスをご提供することに加え、地域の皆さま・国・地方自治体のご協力のもと「まちの安全・安心な生活拠点づくり」並びに「次世代の青少年健全育成」へ取り組む自主的な活動です。日本フランチャイズチェーン協会に加盟するコンビニエンスストア各社が取り組んでいます。ファミリーマートの店舗は2005年10月から全国の店頭にお客さまへの告知ポスターを掲出し、ビデオ・マニュアル等を通じてストアスタッフもセーフティステーション活動の共有化を図ることで、「まちの安全・安心な生活拠点づくり」および「次世代の青少年健全育成」に取り組んでいます。



森の“聞き書き甲子園”への協力

森の“聞き書き甲子園”とは、高校生が森林に関わる仕事をしてきた「森の名手・名人」からこれまでの経験を聞き出し、書き写して、後世に残していこうという取り組みです。毎年、日本全国から高校生100人を選抜。一人一人がそれぞれ、きこり、造林手、マタギ(狩人)、炭焼き、木工職人など森林に関わる分野で様々な経験と技を持ち、他の規範となる「森の名手・名人」たち100人を個別に訪問し、その技術や人となり「聞き書き」して、その成果をまとめ、広く社会に向けて発信しています。ファミリーマートでは「森の“聞き書き甲子園”」の考える環境への取り組みに賛同し、店頭での広報活動等に協力しています。



スポーツを楽しむ機会の創出

サッカー日本代表のサポーターカンパニーであるファミリーマートは親子で楽しめる「ファミマシート」への招待を通じて、たくさんの子どもたちに、迫力溢れる試合を会場で観戦する感動を体験していただいています。また、サッカーがもっと上手になりたいということもたちのために、2008年度から親子で楽しめるサッカー教室を、随時開催しています。ファミリーマートはスポーツを通じて、子どもたちの健全な成長を応援しています。



ホームページでも紹介しています

子どもを応援するファミリーマート

検索